

## 子宮頸がん検診を受けられる方へ

- ・月経中は検診をお避けください。
- ・服装はどんな服装でも問題ありませんが、スカートであれば下着を脱ぐだけになりますのでオススメです。ズボンでこられた方はズボンと下着を脱いでいただく必要がありますが、スカート型の検査着を用意しておりますので、ご利用ください。

### 検診の流れ

- ① 検診前：排尿をお済ませください。
- ② 診察室にて：まず診察室でお話をお聞きします。内診が苦手な場合など、お気軽にお申し出ください。できるだけ痛みや不安がなく行えるよう、一緒に考えさせていただきます。
- ③ 着替え：スカート、検査着、靴下は着用したままで大丈夫です。
- ④ 内診台へ：内診台には、まずベッドに横になるように仰向けで寝ていただきます。台の高さが上がった後、左右の足台にそれぞれの膝をかけていただき、スタッフがおしりに敷いてある台を取り除きます。都度お声かけしますので、ご安心下さい。  
また、医師との間のカーテンは開閉自由となっております。カーテンがある方が安心できる方はそのままです。検査の内容やタイミングが見える方が良い方は、カーテンを開けて行わせていただきます。
- ⑤ 検診：内診と子宮頸部細胞診を行います。  
内診とは膣の中を指で触診し、同時にお腹を上から押さえる診察のことです。子宮や卵巣などに腫れがないか、痛みを伴っていないかなど確認します。  
そして膣に膣鏡という器具を入れ、おりものや子宮の入り口を確認します。子宮の入り口を専用のブラシでなぞり、細胞を採取するのが子宮頸部細胞診です。  
性交渉の経験がある方はそれほど痛みを感じない検査ですが、不安や緊張で力が入ってしまうと、痛みを感じることもあります。おしりをストンと落とし、足をダラんと脱力し、ゆっくり息を吐くようにすると、力が抜けて痛みを感じにくくなります。触る時や器具を入れる時など、声をかけながら診察します。受け答えをしていただくことで息を吐くことができ、力むことによる痛みを軽減できます。どうしても力んでしまう方や痛みを感じられる方には、小さめの器具を使用したり、潤滑ゼリーを使用することもできます。
- ⑥ 検診終了：少量の出血がある場合がありますので、ナプキンをご使用ください。